

http://www.palcoop.or.jp/au_tori/au_tori_cinema.html

第80回例会

コープシアター大阪

劇団大阪「臨界幻想」

8月9日・10日 エルおおさか



心臓発作が死因と言われ、かけつけた母や姉は元々心臓が弱かったからだと諦めるが、後日「原発を

務だった。心臓発作が死因と言われ、かけつけた母や姉は元々心臓が弱かったからだと諦めるが、後日「原発を

舞台上で起こっていることは皆本当のことなのだ!!と錯覚する程、今回のコープシアターには、昨今のドキュメンタリーそのものを見ているようなインパクトを受けた。
30年前にこの物語を著した作者は、当時原子力の平和利用が始まったのは実は幻ではないのかという疑いを題名にしたとあるが、3・11の震災に伴う津波で決定的な危機を露呈した原子力発電の現実



考える会」の久保田が聞き取り調査に訪れ、色々な現場の様子を聞くにつけ純朴な農婦の母

は、暁生の死に不信感を募らせ、暁生の姉

美津子が目撃した体の異様な斑点のことを

を話し出す。数年前、花形企業と信じ母が

原爆と原発の音の響きが似ていると不安

がるのを一笑に付し、寸分のスキなく働

きつづけた暁生。しかし、現場環境は劣悪

で社員の安全も守れているとはいえず、ノ

ルマばかりが優先されていた。そのことを

知った母は態度を豹変させる。劇中最大の

の見せ場である。日電の総務課長、病院、

下請け会社の社員を訪ね歩き、息子の死

因が心臓発作ではなく、被曝が原因であ

り、病院と会社がカルテを100万円で

改ざんしているとの事実も突きとめる。

観る人すべてを慄然とさせる鬼気迫る

芝居であった。(はるこ)

※「臨界」とは…一定条件で核分裂がはじまるその境界のこと

コープシアター大阪「良いものを生で」

25年前の1989年、前身生協のかわち市民生協の組合員さんが「ホンモノの舞台をみんなで見たいね」と、立ち上げたのが「コープシアター大阪」。企画も運営も参加者も全員パルコープの組合員さんです。なかなか呼べない有名な演者の“芝居”や“コンサート”、“きっと自分では見に行かなかったけど、見ると本当に良かった」と感想をいただく“文楽”など。幅広いジャンルの舞台を年3回、会費積立式で見ることができます。「年に3回だけ、夫とデートと思って一緒に出かけて、感想をおしゃべりするの楽しいのよ」と言われる組合員さんも。素敵な舞台をみんなで楽しみましょう!



コープシアター大阪

新会員募集中

パルコープの組合員さんと、その家族なら誰でも入会できる積立式の鑑賞会です。年3～4回の例会があり、さまざまなジャンルの舞台を生で楽しめます。

●入会金2,000円 月会費1,050円

会費は毎月生協の登録口座から引き落とし
※基本は3人以上のグループ加入ですが、1人からでも加入できます。

●問い合わせ 組合員活動部
☎06-6242-0904 FAX06-6242-0926

これからの例会のお知らせ

第81回例会「ル ヴェルヴェッツ」2回公演

2014年10月24日(金)・25日(土)
会場：門真ルミエールホール(京阪電鉄「古川橋」駅)

第82回例会「吉田兄弟～和の祭典～」2回公演

2015年3月6日(金)
会場：門真ルミエールホール(京阪電鉄「古川橋」駅)

自分にとっていちばん大切なもの、そして平和

—「核兵器禁止条約」の早期実現を目指して—

あなたがどんな場合でも失いたくないものは、何ですか? 家族や友人、恋人、住まいや思い出の品々など人それぞれでしょう。自分にとってとても大切なものに囲まれて生活できること、それが「平和」だと思いませんか? その大切なものが自分の周りから消えてしまった時の気持ちを考えてみてください。事故や事件、災害が自分の周りで突然起こり、大切なものを失ってしまう可能性はゼロではありません。

広島と長崎では、今から69年前の1945年8月6日、そして9日、まさに筆舌に尽くし難い悲劇が突然起こったのです。一発の原子爆弾が街の上空で爆発し、何万人という人々が一瞬のうちに亡くなりました。そして、被爆の翌日、2日後、1か月後と、負傷し、放射線の影響を受けた人々が次々と息絶えていきました。両市合わせてその年の終わりまでに21万を超える命が消えてしまったのです。こうした事実は人類の長い歴史の中で他にはありません。

皆さん、今一度、いちばん大切なものをある日突然失った時の気持ちを考えてみてください。

「平和」は安らかな生活の基本です。戦争はあってはいけません。特に、何の罪もない多くの人々を一瞬のうちに殺りくし、街を破壊する核兵器は、人の道に反する非人道兵器の極みであり、許すことのできない「絶対悪」です。

世界の自治体で構成する平和首長会議には、2014年7月1日現在158の国・地域から6,127の都市が加盟しています。そのうち、日本国内の自治体は1,442であり、全市区町村の83.9%に及んでいます。会長は広島市長、副会長は長崎市長をはじめ世界各地の15人の市長が務めており、事務局は公益財団法人広島平和文化センターが担っています。

自治体には住民の生命・財産を守る使命があります。あってはならない「絶対悪」をなくすため、平和首長会議では、世界中の多くの人々の後押しにより、2020年までの核兵器廃絶を目指しています。そのための最も効果的な手段が、核兵器の開発、製造、実験、備蓄、使用等の禁止及びその廃絶について規定する「核兵器禁止条約」です。

広島県生活協同組合連合会、長崎県生活協同組合連合会、平和首長会議、日本生活協同組合連合会はお互いに協力し、「核兵器禁止条約」の早期実現を目指した取組を進めています。

皆さん、「核兵器禁止条約」の一日も早い実現に向け、条約の交渉開始等を求める署名活動にご協力をお願いします。

なお、2014年4月中旬までにお寄せいただいた署名は、同月28日に国連の潘基文(パン・ギムン)事務総長に提出しました。また、それ以降にお寄せいただいた署名は、2015年4月下旬2015年NPT再検討会議に合わせて国連に提出する予定です。

呼びかけ

広島県生活協同組合連合会、長崎県生活協同組合連合会
平和首長会議(事務局:公益財団法人広島平和文化センター)
日本生活協同組合連合会